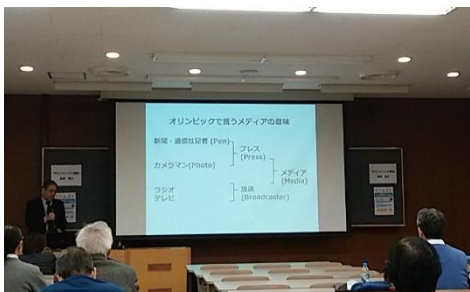




「オリンピックと報道」と題し特別講座開かれる



12月24日(月)大学9号館102教室で成蹊国際コース「World Sports」特別講座として開催された。講師は、藤原陽介日本オリンピック委員会理事(流通経済大学准教授、元 NHK 記者)で演目は「オリンピックと報道」として行われた。講師は、NHK に勤務経験もある方なのでオリンピックはどのように放送されているのかロンドン、北京、リオデジャネイロの各大会での例を交え詳しく説明を受けた。

オリンピックの放送窓口は、オリンピック放送機構(OBS)です。すべての映像を制作し各国の放送局を通じ放映する仕組みとなっている。例えばその内容は、OBS の職員5,000人、中継車・音声車60台、競技の生中継総時間4,000時間超、放送席の総座席数4,240人、200か国へ配信(北京の場合)、世界中で五輪を観る人40億人である。映像を撮る視点は、分かりやすく、ドラマチック性を考えるように心がけているとのこと。我々は、TVを通じてアスリートの一挙手一投足を興奮し感動して観る側であるが、情報を提供するオリンピック放送機構に携わる方々のその努力には敬意を払って余りあるものであると感じた。



リーダーズキャンプ開催される



2月19日(火)大学6号館301教室でリーダーズキャンプが開催されました。学生・OB 含め約140名(OB12名含む)が聴講しました。リーダーズキャンプは、体育会本部が主催ですが、第1部は、河合校医による「課外活動リーダー」のための「安全なスポーツに向けて」6のポイント(1. 障害・外傷の予防、早期発見、早期治療 2. 熱中症3. 脳震盪 4. 超回復の理論5. 練習量・強度とオーバートレーニング6. ハラスメント)について説明を受け、そのあと全員テストを受けました。テスト結果は後日発表となりますがOBも学生同様全問正解すると学生部に受

講済として記録に残ります。

また第2部は、(株)ホープス坂井伸一郎社長による「学生アスリートのためのリスクマネジメント」と題し「なぜ不祥事は避けるべきなのか」「なにが避けるべき不祥事なのか」「どうすれば不祥事を避けられるか」更には、過去の自身の不祥事が将来遡って不利益にならないようにするためには如何しておかねばならないか、身近に起こりえる不祥事を具体的な事例をもとに説明を受けました。リーダーズキャンプの午後は、体育会本部によるクラブリーダーによるミーティングが行われました。



本年度第2回助言委員会が開催される



2019年2月19日（火）13時から課外活動助言委員会が開催されました。境広志学生部長を委員長として、経済・理工・文・法学部から委員の川田、山本、平山、湯原の各先生、学生部から熊崎学生生活課長、学生代表として田中体育会委員長と野呂副委員長、OB会長会からは御厨会長、本間副会長、小町事務局長、アドバイザーとして学校医の河合先生が出席されました。

事務局の学生生活課の藤井氏、渋谷氏からリーダーズキャンプ、体育会アンケート結果、2018年度体育会団体事故報告が説明されました。各委員からは、いかにSNSなどでの不祥事を無くすかという点について、今回リーダーズキャンプで講演された株式会社ホープスの坂井氏による「学生アスリートのためのリスクマネジメント」「不祥事を避けること」は非常に有益であった点や、熊崎課長からは、来年度（平成31年度）も引続き年3回株式会社ホープスによる「リスクマネジメント」についてのセミナー開催を行う予定との発表もありました。事故報告に関連して、熊崎課長からスポーツ庁が推進しようとしているUNIVASに関しては参加するのは当面は様子見にし、安全管理のガイドラインを成蹊独自のものを作りたいなどの報告がありました。

また、事務局より夏場の体育館での熱中症対策として、3月に90Lの製氷機1台を増設することが報告されました。

創部50年を迎えハンドボール部創部記念パーティーを開催した

創部から50年を迎えたハンドボール部は、今年2月16日に50周年記念パーティーを開催しました。長年顧問をされていた橋本竹夫元学園長、甲南大学OBからはOB会長をはじめ3人の方に出席して頂き、ハンドボール部OB・OGも幅広い世代が集まり、大いに盛り上がりました。長年ハンドボールから遠ざかっていたOB・OGが多くいましたが、この集まりをきっかけに、次回のOB戦のために体を鍛え直すと宣言するものも出てきました。このような機会を設けたことで、ハンドボールを見直す良いきっかけとなったようです。きっと学生支援にも大きく影響してくるでしょう。

ハンドボールは、マイナースポーツであり、毎年の部員確保が不安定です。長い歴史の中で、7人で行うハンドボールも部員不足により、試合が出来ず自動降格が余儀なくされる時代もありました。このような要因もあり現在、甲南大学との定期戦も行われていない状況です。そのような中、学生は昨年の秋リーグで4部昇格を果たす活躍を見せてくれました。このパーティーで、OB役員も若い世代へ引き継がれ、学生の更なる飛躍に向けて、OB・OGの支援が充実して行くことを期待しています。



ラクロス部男子2名・女子1名が全日本強化指定選手に選出される

この度、6月に行われる第9回アジアパシフィック選手権大会、そしてそれ以降の世界大会で活躍する選手の育成を目的とした、全国強化指定選手に成蹊大学体育会ラクロス部から男子2名、女子1名が選出されました。選出された選手からの意気込みです。

経済学部 3年 副将 乗田英樹 [左写真#16]

「成蹊の看板を背負っていることをしっかりと自覚し、期待に応えられるように頑張ります」

法学部 3年 副将 鶴来朋也 [左写真#69]

「チームに還元できることをたくさん学び、成蹊を日本一に導くプレーヤーになって帰ってきます」

理工学部 3年 菅谷美玖 DFリーダー[写真右]

「まずは2年後の世界カップで結果を残せるよう日本ラクロス界の発展に貢献できるよう頑張ります」

今年のチームは男女ともに、関東1部リーグに所属しており、「日本一」を目標に日々、練習に励んでいます。彼らの代表活動での経験がチームに良い影響を与え、「日本一」へ大きく近づくことが期待できます。今後とも、皆様に良い結果を報告できるよう、精進してまいりますので、彼らの活躍、そして男女ラクロス部の応援の程どうぞ宜しくお願い致します。



ラクロス部創部30周年記念祝典が開催された



ラクロス部OB・OG会は今年、創立30周年を迎え、3月2日に大学6号館で記念式典を開催いたしました。

式典にはOB100名、OG100名、学生100名の計300名が集まり、学生のプロモーションビデオ上映やOBOGからの寄付金で作成した新ユニフォームの披露などを盛大に行いました。式典に先立ち同日朝、OB戦・OG戦も大学サッカー場で行い、クラブチームで活躍する社会人プレーヤーを中心に現役との対戦を楽しみました。

ラクロス部は平成元年に創立された歴史の浅いクラブではありますが、学内最大規模の体育会組織の一つとしてこうして30周年を迎えることができたのも、教職員の皆様、体育会関係者の皆様、父兄の皆様、コーチ諸君など多くの皆様のご理解とご支援あってのものだと感謝しております。

男女とも関東一部リーグに所属し、現役の代表強化選手も輩出しているラクロス部に今後ともどうぞご期待ください。

学生・OB・OG一丸となって成蹊大学の名に恥じない活躍をして参ります。



ラグビーフットボール部で卒業生を送る会が開催された



3月10日(日)14時から成蹊大学6号館地下1階のカフェ&ホール「COMMichi」にて成蹊中学、高等学校、大学の卒業生を送る会が先生、監督、顧問、コーチ、来賓、OB、父兄、学生総勢約200名で盛大に行われた。本会は中高大の在校生の父母会が幹事となって、毎年、3月の中旬に開催しており、中高大ラグビー部合同の恒例行事となっている。冒頭、成蹊ラグビー部の立花馨三副会長(政経10卒)の挨拶では4月から社会人になる大学卒業生に対して、卒業の祝辞と共に社会

人としての心構えをしっかり持つよう訓示があった。その後、中高大監督の祝辞の後、成蹊ラグビー部の松本興一副会長(政経16回卒)の乾杯の音頭で盛大に会が催された。約1時間の歓談後に中学生の卒業生から順に一人ずつ壇上で花束贈呈と共に挨拶があり、ラグビー部での思い出や今後の目標、進路などを発表、最後に本年度大学ラグビー部主将の甲山大悟君(経済学部3年)の音頭で参加者全員で成蹊ラグビー部歌を斉唱して幕を閉じた。



学園史料館に行ってみよう



4月7日(日)は、ご承知の通り第41回桜祭りが開催されます。今年の桜の開花は早いと予測され、皆さんが学園を訪問するときには多少遅いことも予想されます。そこで学園に来られ、懐かしい同僚やクラブの先輩・後輩方と旧交を温めた後にでも学園史料館に寄ってください。現在、創部記念として編纂した記念史(誌)が史料館に寄贈されています。

学園サッカー部(100年)、学園剣道部(100年)、大学バレーボール部(70年)、大学ヨット部(

60)、大学ゴルフ部(60)の展示コーナーが設けられクラブの創部からの歴史が残されています。卒業生にとっては学生時代を思い起こすことにもなります。また後輩の方々や学生にとってはクラブの歴史を知り、先輩方の残された歴史に敬意を表すことにもなり大きな財産にもなります。是非クラブの歴史を記し史料館に残しましょう。

余談ですが、史料館の前に“桃、李”の木があるのをご存知ですか。成蹊の桜は有名ですが、「桃李不言下自成蹊」と言われた“桃、李”が史料館前にあることを知る人は少ないようです。一度史料館前に立ち、ご覧ください。



Information 重要なお知らせ

■お知らせ

□次号18号は、4月～6月の皆様の活動を掲載いたします。OB総会、記念式典、試合の報告等、現役・OB会の活動の発表の場です。自分のクラブの活動を掲載して見ませんか。 文責：木村明彦